



みんなの個性が 輝くまちへ

中学3年生向け



札幌市

目次



1

男らしく、女らしくって？

2

仕事や家事・育児は誰の役割？

3

女性は子どもを産んだら
仕事を辞めた方がいい？

4

交際相手の携帯電話は勝手に見てもいい？

5

大事なことを決める会議に
女性が参加しなくていい？

BOOK

この冊子について

「男性はこうあるべき」「女性はこうあるべき」というように、性別だけで人がどうあるべきかを決めてしまうことがあります。好きなことや得意なことは性別だけで決められることはありません。

人には、性別だけではなく様々な違いがありますが、こうした違いをお互いに認め、尊重しあうことは非常に重要なことです。

男性も女性も、性別にとらわれることなく、自分の意思でいろいろな活動に取り組んだり、ともに責任を担ったりすることを「男女共同参画」といいます。

「男女共同参画」を広めることは、人々がいきいきと豊かに暮らし、よりよいまちをつくることにつながります。

この冊子に掲載している5つの事例から「男女共同参画」について学びましょう。

調べてみよう！

札幌市には、子ども一人一人が自分らしく豊かに成長していくまちを目指してつくった、「子どもの権利条例（※）」というきまりがあります。この中でも、性別や年齢、民族や国籍、障がいの有無など、様々な違いをお互いに認め、尊重し合うことの大切さが書かれています。

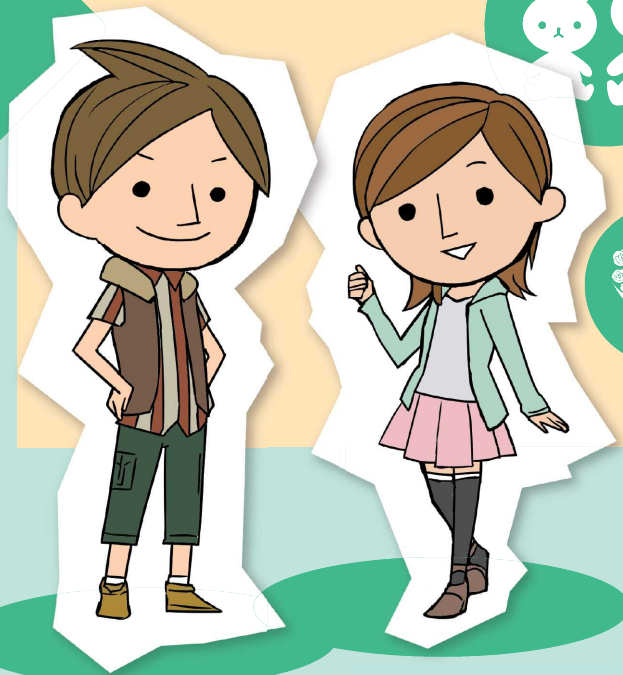
札幌市 子どもの権利

検索

※正式名称：札幌市子どもの最善の利益を実現するための権利条例



1



男らしく、女らしくって？

男女の違いは大きく分けて2つの種類があります。

1つは、体のつくりの違い、つまり、生まれたときから決まっている男女の違いの「生物的な性差」です。

もう1つは、「男らしくしっかり」「女らしくおしとやかに」など、歴史や習慣などからくる男女の違いの「社会的な性差」です。

「社会的な性差」は、時代や一人一人の考え方で変わってくるものです。古くから引き継がれてきたことの中には、大切にしていかなければならないものもありますが、それ以上にその人らしさや自分らしさを大切にするのがより一層大事です。

2



仕事や家事・育児は 誰の**役割**？

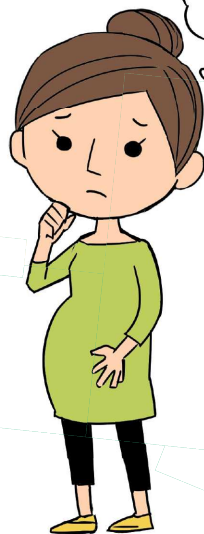
家事や子育て、仕事などの役割は、その人の個性や能力、本人同士の話し合いなどで決めることが大切です。

「男性は仕事、女性は家事・育児」というように、性別によって人の役割を決めてしまう考え方を、「固定的性別役割分担意識」といいます。

男性だから、女性だからという理由で自分がやりたいことや得意なことができなかったり、反対に苦手なことを押し付けられたりしたら、皆さんはどう感じるでしょうか。

一人一人の考えや個性、能力に目を向けて役割を決めることが大切です。

3



女性は子どもを産んだら 仕事を辞めた方がいい？

女性は男性と比べて、結婚や出産、子育てによって働き方に影響を受けやすく、仕事を続けることが難しくなる場合や、再び働こうと思っても働き先がすぐに見つからないことがあります。

実際に、結婚・出産により仕事を辞めることが多い30歳から40歳くらいの間で働く女性の割合は低下しています。

性別を問わず、誰もが働きやすく活気のある社会をつくるためには、安心して子育てができる職場づくり、仕事を辞めても再び働くことができる環境づくりなど、女性が子どもを産んでも仕事が続けやすい社会にしていけることが重要です。

4



交際相手の携帯電話は勝手に見てもいい？

夫婦や恋人同士の間で、立場の強い人が一方的に、相手を思い通りにしようとする態度や行動のことをDV（ドメスティック・ヴァイオレンス）といいます。

学生や若者の交際関係では特に「デートDV」と呼ばれており、交際相手が自分を最優先にしないと不機嫌になったり、電話やメールの履歴をチェックしたり、友達付き合いを制限したり…。相手のことは好きなんだけど、なんだか苦しい、怖い、嫌だと言えない関係だったら、それは「デートDV」かもしれません。

自分の考えを相手に押し付けず、お互いに違いがあることを認めて、自分の気持ちも相手の気持ちも、どちらも大切にすることが重要です。

もし、「デートDVかな」と思ったら、一人で抱えこまずに、早めに信頼できる人に相談しましょう。

ティーンズナビ

デートDV・性暴力・ストーカーなど私たちの身近な問題について考えるスマートフォン対応ウェブサイトです。

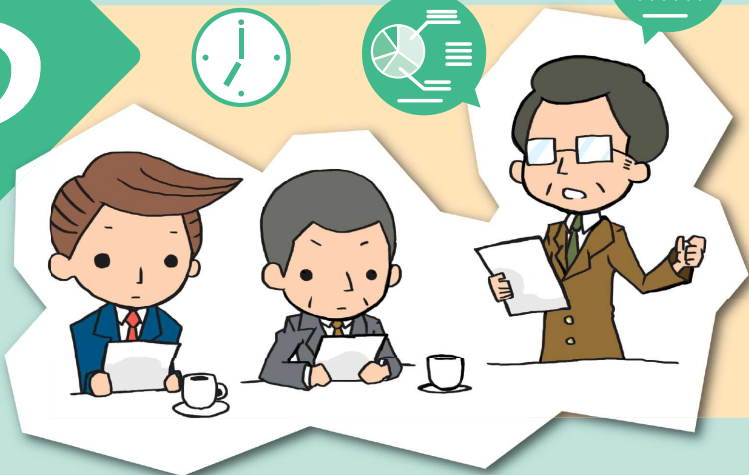
<https://teens-sapporo.jp/>



ティーンズナビさっぽろ

検索

5



大事なことを決める会議に 女性^{女性}が参加しなくていい？

企業や政治の場では、さまざまな会議が開催され、重要な決定がされていきます。しかし、この会議がほとんど男性ばかりが参加していて、女性が参加していなかったら、どうなるでしょうか。やはり、男性にとって都合のいいことが決められたり、女性のために何かを決めるときも、少し思っていたものと違うということになったりするかもしれません。

実際に、日本の重要なルールを決める国会議員全体に占める女性の割合が大変低い状況であるなど、国や地方公共団体、企業などで重要な決定を行う会議での女性の割合が低い状況です。

今後も男性・女性どちらにも偏ることなく、男女ともに重要な意思決定の場に参画できる社会を目指していくことが重要です。

※衆議院議員に占める女性割合が15.7%、参議院議員に占める女性割合が25.4%となっている。

(出典：内閣府「女性の政治参画マップ2024」)

みんなの個性が輝くまちへ =中学3年生向け=

【編集・発行】

札幌市市民文化局市民生活部

男女共同参画室男女共同参画課

〒060-8611 札幌市中央区北1条西2丁目

TEL 011-211-2962 FAX 011-218-5164

E-Mailアドレス danjo@city.sapporo.jp

令和7年(2025年)3月



さっぽろ市
02-D04-24-2515
R6-2-1615